

小学3年生19名が校外活動で当館見学

深澤精神を次代に!!

去る6月30日、沢内地区小学校3年生の合同校外学習として当資料館に19名の児童が見学に来ました。

当館の説明員から説明を聞いたり、ガラスケース内の資料を見たり、パネルを見たりしては一生懸命記録していました。深澤晟雄はこの子達のお父さんやお母さんの時代の人ですが、先人の苦労があつた今の自分たちがいるところを知るよい機会なつたことと思います。

後日、川舟小学校の菅野稔校長先生より、大変有意義な学習だつたと感謝のお手紙をいただきました。

学習活動については資料館は無料で入館してもらつております。次代に残すためにもこの資料館の役割をあらためて認識した日でした。



お知らせ

映画

『いのちの山河』上映予定!

- 9/2 秋田県能代市文化会館
- 9/11 秋田県横手市 かまくら館
- 9/12 秋田県横手市山内体育館
- 9/19 陸前高田市ふれあいセンター
- 9/25 大船渡市リアスホール

7月の入館者は307人

県外 - 195人

宮城、秋田、山形、東京、埼玉、千葉、福島、兵庫、神奈川、愛知、栃木、茨城

県内 - 104人

花巻、紫波、盛岡、遠野、二戸、滝沢、九戸、一関、栗石

町内 - 8人

8月のお盆中は
141人(昨年は124人)でした

資料館に寄付金をいただきました。
ありがとうございます。

埼玉県 児玉福祉会様

秋田県 風間幸蔵様

東京都 大木義子様

「旅行読売」に掲載されました

埼玉県藤沢市の大西順三さんが、5月末に深澤資料館を訪ねられ非常に感銘を受け、旅の雑誌「旅行読売」に

投稿されましたところ、現在発売中の9月号に掲載されました。そのまま紹介します。



たびよみ 読者の広場

イラスト
島田美幸

待 合 室

偉大な村長が築いた村へ 休館日の資料館で 出合った温かさ

神奈川・藤沢市 大西順三（68）

私は、有名観光地へ行くことだけが旅ではないと思っている。ひとり旅をする際には、自分なりのテーマを持って出かけることにしている。

先日は岩手県西部、秋田県に接する西和賀町（旧沢内村）を訪ねた。

ここは、昭和35年に、全国の自治体で初めて60歳以上の高齢者の医療費を無料にしたところ。当時の村長、深澤晟雄氏の生涯を描いた書籍「村長ありき」や、映画「いのちの山河」で話題になった村だ。本と映画にすっかり感動した私は、その現場である旧沢内村を訪ね、深澤村長の偉業に触れることを今回の旅のテ

マとした。

JR北上線ほつとゆだ駅から、タクシーで約20分。当時の深澤村長の業績をたえ、平成20年に開設された「深澤晟雄資料館」に着いたのは9時前だった。開館前だったので、村の資料を手に入れようと、西和賀町沢内庁舎（旧沢内村役場）へ行った。

そこで職員に、「本日、資料館は休館ですよ」と言われ、がくぜんとした。はるばるやってきて、資料館を見学できないとは……と、私が落ち込んでいた。職員が資料館の責任者の自宅に電話をしてくれた。その結果、私ひとりのために、わざわざ資料館を開けてくれたのだ。

貸し切り状態で館内を見学し、説明を受けたり、50年前に深澤村長が使っていた机で記念写真を撮っていただいたり、貴重な体験をさせてもらった。

役場の職員の方と資料館の方、素敵な人たちとの出会いに恵まれ、実に温かい気持ちになった旅だった。

旅の終わりには、ほつとゆだ駅にある温泉で体も温めた。浴室に設置された信号機が、電車が到着する15分前を知らせる赤信号になるまで、じつくりと旅の余韻に浸ったのだ。



※「旅行読売」2010年9月号に掲載された内容です。

深澤晟雄資料館 / 〒029-5614 西和賀町沢内字太田 2-68

TEL & FAX 0197-85-3838
Eメール masao@nisiwaga.net